



第15号

学びのコンパス

～小・中学校の実践から子どもたちの学力向上への「進路」を示す～

GIGAスクール 特集

— 機器導入・スケジュール編 —

GIGA=Global and Innovation Gateway for All

(すべての子どもに個別最適化され、グローバルで創造性を育む学びを実現する構想)

令和元年12月に文部科学省から**GIGAスクール構想**が打ち出されました。
新型コロナウイルス感染拡大に伴う「学びの保障」への対応のため、整備計画が前倒しされ、京都市においても学習系PCや校内LAN環境の整備が進み、学習スタイルが大きく変わっていきようとしています。

今回の「学びのコンパス」では、GIGAスクール構想のねらいや、今後のICT環境整備のスケジュールについてわかりやすくお伝えします！



GIGAスクール構想の背景やねらいは？

社会における情報化の急速な進展

■ AIやロボット、IoT (Internet of Things=あらゆるモノのインターネット接続) などの先端技術の発展・普及により、日常生活・仕事の仕方を含め、社会の在り方そのものが劇的に変わる「**Society5.0**」時代の到来

→このような社会で生きていく上で必要な資質・能力を育むために、
学校生活においてもICT環境を整備し、活用していくことが不可欠！



学習指導要領の改訂

■ 情報活用能力を言語能力、問題発見・解決能力と共に、**学習の基盤となる資質・能力**に位置付け
■ ICT環境の整備とICTを活用した学習活動の充実を明記

→ **情報活用能力は主体的に情報を活用し、自分の考えを形成するための基礎的な力！**
ICT操作スキルの習得、プログラミング教育、情報モラル教育 等により展開！



(文字入力、インターネット閲覧、情報手段の適切な活用)

A 知識及び技能
情報活用の実践力

(コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みの理解)

B 思考力・判断力・表現力等
情報の科学的な理解

(情報発信による他人や社会への影響等)

C 学びに向かう力・人間性等
情報社会に参画する態度

「教育の情報化に関する手引」より

1人1台端末によって授業はどう変わる？

文部科学省リーフレット「GIGAスクール構想の実現へ」より

一斉授業



「1人1人」の反応を踏まえた、
双方向型の授業が可能に！

個別学習



「1人1人」の状況やニーズに
応じた個別学習が可能に！

協働学習



「1人1人」の考えを即時に共有し、
子ども同士で意見交換が可能に！

これまでの
教育実践の蓄積



学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

ICTは令和の学びの「**スタンダード**」です。

PC端末の使用が目的ではなく、**児童生徒がこれからの社会を生きるために必要な資質・能力を育むため**、GIGAスクールで整備される環境をフル活用することが求められます。

Check 文部科学省「各教科等の指導におけるICTの効果的な活用について（令和2年9月）」

GIGAスクール構想実現に向けたICT環境整備（令和2年度末までのスケジュール）

**GIGAスクール構想による整備端末は
校内通信ネットワークの整備後、
新ネットワーク切換え完了時から校内で活用可能となります！**

（クラウドサービス利用に必要なアカウントは、9月末に全児童生徒・教職員分を配布済）

**学校の環境が
変わります！**

整備内容		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高速大容量の通信ネットワークの整備 LAN配線の引き直し、通信機器（無線LANアクセスポイント等）の設置 通信速度は現在の約10倍に！ ストレスなくインターネットを使用できる環境を実現		▶						
1人1台のタブレット型 コンピュータの整備 全児童生徒・教職員分 →小・中・小中及び桃陽 Windows端末（キーボード着脱型） →育成学級及び総支（桃陽除く） iPad端末（外付けキーボード兼ケース付属）	端末①（小6・中3及び インターネット環境のない家庭分）	▶						
	端末②（上記①以外）	▶						
端末充電保管庫の整備 テレビスタンド兼用、各学級に整備 総支・育成学級は通常タイプ（箱型）を整備		▶						
大型テレビの更新 60型以上、各学級に整備		▶						
カメラ・マイク・スピーカー 一体型 Webカメラ の整備 ①Web会議で活用できる 小型軽量タイプ（各校2台） ②オンライン授業で活用できる 高画質タイプ（小6・中3の 学級数+それ以外の学級及び 総支は2学級に1台）	①小型軽量タイプ	▶						
	②高画質タイプ	▶						

どのようなPC端末が整備される？



1人1台の端末整備

→普通教室ですぐに・いつでも使える！

- 小6・中3及びインターネット環境のない家庭分の端末は
9月末までに納品
Lenovo (IdeaPad D330)
- その他分は12～3月末にかけて納品
Lenovo (IdeaPad D330) 又は **Dynabook (K50)**
- 育成学級及び総合支援学校（桃陽除く）は12～3月末にかけて納品
iPad (32GB)



整備されるPC端末で何ができる？

端末の整備後は**クラウドサービス**により、インターネット上でデータやソフトウェアを活用し、様々な学習を進めることが可能になります。ここでは、その一部をご紹介します。

Microsoft 365

Word, Excel, PowerPointなどの従来のサービスの他に、動画配信ができる**Teams**, アンケートやテストを作成できる**Forms**等の利用が可能になります。

(利用する際に必要なアカウントは、9月末に全児童生徒・教職員分を配布済)



Microsoft 365の各機能については今後、研修会を実施予定です。

◆ Microsoft 365の主なサービス



Word



Excel



PowerPoint



Teams



Forms



OneNote



OneDrive



◆ 活用場面

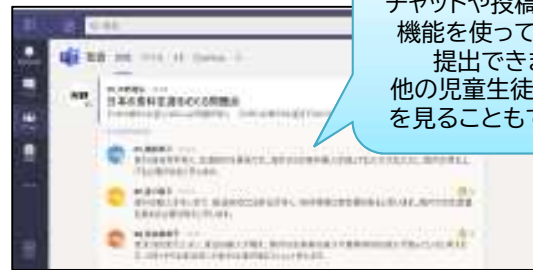


Teams
の活用事例

オンライン授業
や会議をする
ことができます。



チャットや投稿(掲示板)
機能を使って、課題を
提出できます。
他の児童生徒の成果物
を見ることもできます。



Forms
の活用事例



アンケートや小テストを作成し、
即時に回答結果を
集計することができます。

Microsoft「新しい教育テクノロジーの活用例のご紹介」より

教育ソフトウェア導入モデル校

PC端末上で5教科等の問題を解くことができる**デジタルドリル**や、協働学習で1人1人の考えを即時に共有できる**授業支援ソフト**などについて、市内複数の学校で検証を進めています。

◆ デジタルドリル



東京書籍のタブレット
ドリルや、ベネッセの
ミライシード等について
授業や個別学習の
活用方法を検証中！

◆ 授業支援ソフト



ロイロのロイロノート
スクールや、ベネッセの
ミライシード(オクリンク)
等について協働学習での
活用方法を検証中！

イラストは文部科学省「GIGAスクール構想について」より



- ◆ 9月下旬、小・中学校の校長会と教育委員会で、GIGAスクール整備後の教育活動について、第1回目の意見交換会を行いました。
- ◆ 令和3年度に向けて、ICTを活用した授業や学習方法の方向性について今後も学校現場とともに検討を進めてまいります！

Q 1 端末の故障時はどうすればよいですか？ 

A 1 故障の場合は、各校配備の**予備機を使用**します。なお、**1年間はメーカー保証**があります。問合せ先は、光京都ネットサポートデスクです。

Q 2 児童・生徒に、端末を家庭へ持ち帰らせることは可能ですか？ 

A 2 **9月末までに配備した端末は、小6・中3の学習保障並びに学級閉鎖等の際に緊急に貸し出すもの**であり、その趣旨を踏まえ、家庭へ持ち帰らせて、学習や連絡手段にご活用ください。

貸出しに係る手続きについては、下の通知文に則って対応してください。

〔→9月29日付学校事務支援室通知文「学習用タブレット型コンピュータの貸出しに関する規程及び貸出しに係る事務手続きについて」〕

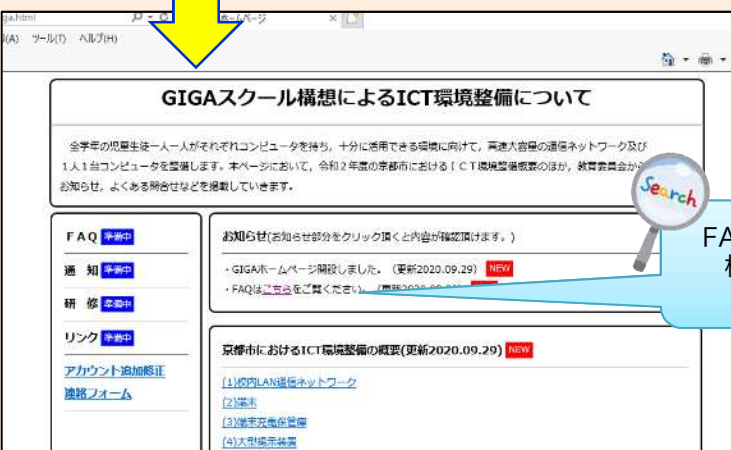
Q 3 上記の端末では、不適切なサイトが見られないようになっていませんか？ 

A 3 暴力、ドラッグなど児童・生徒に悪影響を与えるサイトの閲覧ができないように**アクセス制限（フィルタリング）**が行われる仕組みになっています。

GIGAスクール構想ホームページについて



教育ポータル内の「情報・処理BOX」のアイコンからアクセスできます！
(アクセス先は光京都イントラ「◆2 GIGAスクール構想」)



FAQコーナーにはよくあるお問合せを掲載しています。
校内通信ネットワークや端末整備の詳細についても掲載しています。

- ◆9月29日付で「GIGAスクール構想によるICT環境整備について」のホームページが光京都イントラ内に開設されました。
- ◆今後、GIGAスクールに関連する様々な情報を発信していきます。適宜、ご確認をお願いします。

